滋賀県立
彦根東高等学校

SCHOOL GUIDEBOOK 2025

150 Years 1876-2026

彦根東高はまもなく創立一五〇年
生徒と教職員が力をあわせて学校を創り上げています

「動画で見る
彦根東高校」へ

PLIJ彦根東
コンテンツへ

Introduction

先駆者精神「赤鬼魂」

彦根東高は、彦根藩に由来する赤鬼魂を継承しています。これには、先駆者精神、先頭に立って活躍する、時代に先立って新しい道を切り拓く、何事にも屈しないチャレンジ精神という意味があります。

彦根東高スクールミッション（滋賀県教育委員会策定）

1　未来を拓く心豊かでたくましい人くりのため、生徒の**自立**する力・伝える力・**協働**する力・**創造**する力等の生きる力を育成する学校
2　開校以来の先駆者精神を尊び、予測困難な時代においても確かな行動力で未来を切り拓く人材を育成する学校
3　県内各地の多様な生徒が集い、創造性を育む探究的な学習等により世界で活躍できる人材を育成する学校

土曜講座「稽古館」（名前は江戸時代の彦根藩校に由来）

彦根東高の教職員や外部講師による土曜開講のスペシャル講座。教科横断的な学習やフィールドワークなどの多彩な内容で楽しく学びます。

ブラ地理

動物介在教育を考えるプロジェクト

数学オリンピック

学びの特色

求めよ普(あまね)く　究(きわ)めよ深く

●彦根東高の校歌（作曲：古関裕而　作詞：吉田精一　昭和27年制定）の２番に「求めよ普く　究めよ深く　輝け叡智よ　湖上の月と」という一節があります。彦根東高では、幅広い教養を身につけ、常に探究心をもって自ら学びに楽しく向かう力を養います。

滋賀県各地から彦根東高に集まり大きく成長する生徒たち

●彦根東高は明治９年に開校しまもなく創立150年を迎えます。決して、歴史と伝統に胡坐(あぐら)をかくことなく、その時代その時代の生徒と教職員が力をあわせて学校を創り上げています。
●地元の彦根市、米原市はもとより、北は長浜市から南は大津市まで県全域から入学します。明朗快活な生徒も無口で沈思黙考の生徒もいます。皆がお互いを尊重し３年間の高校生活を通して大きく成長します。

令和６年度出身中学校市町別人数（人）

彦根市	約270
長浜市	170
東近江市	110
近江八幡市	110
米原市	60
蒲生・愛知・犬上郡	30
大津・草津・守山・栗東・野洲市	160
他市・国立・県立・私立等	50

特色ある教育課程

●50分×7限授業で授業時間を確保
●２年生から文系・理系コース分け
●総合的な探究の時間の「課題研究」で探究力・チャレンジ力を養成
●自習専用室の設置、土曜日の教室開放により自主学習を支援
●文部科学省のWWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業の拠点校指定（令和４年～）やSSH（スーパーサイエンススクール）指定（平成18年～令和３年）、DXハイスクール事業の指定（令和６年）をもとに、世界で活躍できるグローバルリーダーの育成を目指しています
●大学の授業を受講し単位を取得する「先取り履修」など県内外の大学との高大連携を推進
●土曜講座、夏期講座、総合教養講座、人権教育講座などの特別講座開講

令和７年度入学生 教育課程（予定）

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
1年生		国語(5)					地理歴史(2)		公民(2)		数学(6)						理科(4)				体育(2)		保健(1)	英語(6)						家庭(2)		情報(1)	LHR(1)	総合探求(1)	
	GS	国語(5)					地理歴史(2)		公民(1.5)		数学(6)						理科(4)				体育(2)		保健(1)	英語(6)						家庭(1.5)	情報(1)	Advanced Research(2)		Integrate(1)	LHR(1)
2年生	文系	国語(6)						地理歴史(6)					数学(5)					理科(2)			体育(2)		保健(1)	英語(6)						芸術(2)		情報(1)	LHR(1)	総合探求(1)	
	理系	国語(4)				地理歴史(2)			数学(7)					理科(6)							体育(2)		保健(1)	英語(6)						芸術(2)		情報(1)	LHR(1)	総合探求(1)	
	GS	国語(4~6)					地理歴史(2~4)			数学(7)							理科(4~6)				体育(2)			英語(6)					芸術(2)		Advanced Research Ⅱ(2)		Integrate Ⅱ(1)	LHR(1)
3年生	文系	国語(7)							地理歴史・公民(8)								数学(3)			理科(4)				体育(3)		英語(6)							LHR(1)	総合探求(1)	
	理系	国語(4)				地理歴史・公民(4)				数学(6)						理科(8)								体育(3)		英語(6)							LHR(1)	総合探求(1)	
	GS	国語(4~6)					地理歴史・公民(4~8)					数学(3~6)						理科(4~8)						体育(3)		英語(6~7)							AR Ⅲ(1)	LHR(1)

※（　）内の数字は、週あたりの授業時間数を表しています。
1年GSコースの「公民」「家庭」は、2時間の週と1時間の週が交互にあります。

高い志と自主自律の精神で進路を切り拓く

彦根東高の生徒は、卒業後大学に進学します。そして将来、大学で研究者になる人、医者になる人、企業で活躍する人、様々な生き方があります。学校の先生になる人もたくさんいます。大学への進学は決してゴールではなく通過点です。東京大学や、滋賀医大に合格、これは単なる実績です。その先、どういう人間になるか、どう生きるか、生きていく強さを彦根東高の３年間で身につけてほしいと考えています。

総合教養講座

彦根東高のOB・OGは県内外で活躍しています。起業家、経営者、大学教授、医者、シェフなど様々な卒業生を講師に招き、生徒と意見交流をしています。生徒は、講師の働き方や生き方を目の当たりにし、自分自身が本当に目指したい進路を真剣に考える貴重な機会になります。

難関大集会

東京大学、京都大学、滋賀医科大学などの在学生を招いて、最新の学術情報や受験勉強方法について、先輩から後輩に直接伝授されます。大学入試本番のエピソードや大学生活の様子なども語られます。参加した生徒からも勉強法やリフレッシュ方法など多くの質問が投げかけられ、毎年大盛況です。

医学部志望者向け講座・高校生版教師塾

医療系志望者（医学・歯学・薬学・看護学・理学療法学・作業療法学など）を対象に、ガイダンスや面接指導、集団討論対策などを３年間継続して行います。高校生版教師塾では、彦根東高OB・OGの小中高の現役教員を招き、教員志望の生徒に教職の魅力を伝える取組も実施しています。

難関大集会

医学部進学者の
面接練習

新入生
オリエンテーション

大学入試の過去問や
資料が充実しています

卒業生の声

田原 総一朗 さん

―[主な経歴]
彦根東高校-早稲田大学-岩波映画製作所-テレビ東京
ジャーナリスト（テレビ出演・著書多数）

彦根東高校は、旧制時代は彦根中学で、小学校のときから彦根中学に入って野球部に所属し、甲子園大会に出場するのが夢でした。当時は進学校がほかにありませんでしたので、彦根東高校に進むことにしました。

高校時代、先生に「高校は大学受験のための詰め込みばかりでつまらない。そもそも、なぜ大学に行かないといけないのか、なぜ就職しないといけないのか、人生とはどういうことなのか、生きるとはどういうことなのか」と尋ねると、先生が面白がって若い哲学者を紹介してくれたり、わざわざ泊まりがけで先生も一緒にお寺に訪問して、科学技術が発達してもなぜ宗教が持続するのか、なぜ人間は宗教を求めるのか、という説明をお坊さんと先生からわかりやすく受けたりして、とても素晴らしい青春時代でした。

これからの時代を築いていくみなさんには、同調圧力に負けず、自分の頭で考え、自分の言葉で発言する人間になってほしいと願っています。

なお、私は野球部には所属しましたが、正選手にはなれず、私たちの代には甲子園出場も叶いませんでした。

有馬 純 さん

―[主な経歴]
彦根東高校-東京大学-通商産業省（現経済産業省）
OECD（経済協力開発機構）日本政府代表部参事官
IEA（国際エネルギー機関）国別審査課長
資源エネルギー庁国際課長、同参事官
大臣官房審議官地球環境問題担当
JETRO（日本貿易振興機構）ロンドン事務所長
東京大学院特任教授　エネルギー環境政策

私は1978年に彦根東高校を卒業しました。父の転勤により中学から高校の５年間を彦根で過ごしたのですが、彦根東高校の３年間は私にとってかけがえのない思い出です。今でも年に一度は彦根を訪れ、中高時代の友人と旧交を温めています。

東高校でまず思い出すのはチャイコフスキーのピアノ協奏曲第１番冒頭を使った始業チャイムです。入学試験のときにあの勇壮なメロディが流れてきた時は驚いたものです。東高校の校風の特色は自由と大らかさでしょう。県内有数の進学校ですから勉学が重視されることはもちろんですが、部活動を含め、勉学以外の分野で自分の興味関心を見つけることも奨励されていました。文化祭、体育大会などの学校行事も盛んで、私は生徒会本部で夜遅くまで準備に精を出していました。1、2、3年の同じクラスナンバーを束ねて「団」をつくり、団対抗で学校行事を行うのは東高校独特の伝統です。大人びた３年生の先輩方と共に、おそろいの団カラーの法被に身を包んで応援合戦に参加し、様々な大学の校歌や旧制高校の寮歌を高吟したのは良い思い出です。この校風・伝統は今でも変わらないそうで、嬉しい限りです。

春夏秋冬、美しく姿を変える城山を朝な夕なに眺めながら、藩校以来の長い歴史を誇る東高校に通ったことは、私の人間形成に確かな影響を与えています。彦根東高校の門をくぐった皆さんが、それぞれに素晴らしい３年間を過ごされることを確信しています。

図書室の田原総一朗文庫

廊下学習

教員が希望進路実現を全力サポート

玄宮園から望む彦根城

過去５年間の合格者数

大　学　名	令和５年度	令和４年度	令和３年度	令和２年度	平成31年度
北海道大	1	2	1	4	2
東　北　大	0	0	1	0	1
筑　波　大	2	1	1	1	3
東　京　大	0	0	2	1	1
金　沢　大	15	4	12	10	13
名古屋大	5	3	10	11	3
滋　賀　大	14	19	14	9	14
滋賀医大	7	5	9	7	11
滋賀県立大	15	10	14	18	11
京　都　大	8	12	8	12	7
京都工繊大	7	5	9	5	7
京都府立大	3	4	5	2	2
大　阪　大	13	17	10	13	11
大阪公立大	20	16	7	11*	15*

大　学　名	令和５年度	令和４年度	令和３年度	令和２年度	平成31年度
神　戸　大	14	13	14	10	10
岡　山　大	3	0	2	4	1
広　島　大	10	8	11	4	8
九　州　大	5	1	2	0	4
慶　応　大	3	4	3	5	4
早稲田大	4	7	1	8	7
同志社大	103	82	88	63	78
立命館大	314	195	240	207	224
関　西　大	21	22	27	26	24
関西学院大	29	14	14	15	12
国公立大合計	221	186	197	187	191
(内､医学部医学科)	5	5	9	8	9
私立大合計	953	832	920	812	785

＊大阪市立大と大阪府立大の合計人数です

夢中になれる場所　彦根東高

彦根東高最大のイベント
学園祭「東鬼祭」

- １年から３年までの縦割りの「団活動」で優勝を目指します。さらに文化部発表や有志発表など、生徒会執行部による楽しい企画運営により、生徒が伸び伸びと創意工夫をこらして取り組みます。
- 彦根東高では東鬼祭のある一週間は授業を一切行いません。東鬼祭は、準備期間も含めて生徒が成長する場面が随所にあり、学校として授業をせずに生徒の自立する力、協働する力、創造する力を身につけることを最優先しています。

4月	5月	6月	7月	8月	9月
始業式、入学式 対面式 実力考査（3年） 宿泊オリエンテーション（1年）	中学校教員対象説明会 PTA総会 1学期中間考査 春季高校総体・高文祭	春季高校総体・高文祭 東鬼祭（文化祭・体育祭） 難関大集会（3年） 校外模試（3年）	1学期期末考査 校外模試（全学年） 終業式 夏期講座（3年） 海外連携校研修	全国高校総体 全国高校総合文化祭 中学生対象学校説明会 校外模試（2・3年）	始業式 学力考査（1・2年） 実力考査（3年） 海外連携校交流 校外模試（3年） 総合教養講座（2年）

文化の部 ２年生による団舞踊

体育の部 学校開催での様子

体育の部 長浜バイオ大学ドームでの様子 R7年度も使用予定

文化の部 １年生による団合唱

グローバルな視野を広げる修学旅行

- 台湾を訪れ、現地の高校生や大学生との市内観光などを行っています。
- コロナ禍においても、長崎・福岡にて、外国人留学生と平和公園（長崎市）など自分たちで考えたコースを巡るなど、国際交流を深めています。

台湾への旅行

九州への旅行

施設紹介

図書室 県下でも有数の蔵書数

自習室 完全独立46席

多目的ホール 県内の木材で作られ、高い音響効果が魅力

部室棟

中庭 憩いのスペースになっています

10月	11月	12月	1月	2月	3月
2学期中間考査 校外模試(3年) 人権統一LHR 秋季高校総体・高文祭 実力考査(3年)	校外模試(1・2年) 修学旅行(2年台湾)	2学期期末考査 終業式 生徒会長選挙	始業式 大学入学共通テスト 校外模試(1・2年)) 人権統一LHR	学力考査(1・2年) 特色選抜入試 課題研究発表会	卒業式 学年末考査 一般選抜入試 球技大会 終業式

在校生・卒業生の声

八若 桜太 さん

彦根東高校に来る生徒は真面目でよく考えて話す人が多く、とても居心地がいいように感じます。また高い向上心を持っている生徒も多く、廊下学習や放課後、土日の教室解放などを使用して学校の様々なところで勉強しているため、自分も自然と隙間時間を使って勉強が出来るようになりました。また、彦根東高校には魅力的な先生もおられ、教科書を読んでいるだけでは学べない多くのことを学ぶことが出来ます。

確かに、課題の量が多いなど、勉強が厳しいこともあり、中学校よりも自分で考えて行動しなければならないことは増えます。しかし、その経験を通じて自分を律する力を養うことができると私は思います。また、日ごろ勉強を頑張ってきた分、彦根東高校の学園祭である「東鬼祭」では、開放的に楽しむことができます。

部活への意欲が高い人も多く、日々刺激を貰っています。私たち陸上部は、私立高校などと比べると活動時間は少ないですが、密度の高い練習を心がけることによって、マイルリレーで近畿大会に出場することができました。

勉強も部活も頑張りたい、仲間と共に密度の高い時間を過ごしたい、という方は是非彦根東高校に入学し、充実した高校生活を送りましょう。

西澤 桃歌 さん

彦根東高校は、自分のやりたいことを見つけ、そのことに対して自主的に一生懸命取り組める環境が提供されている場所です。

私はELCに所属しています。ELCでは、英語ディベートやスピーチの大会に出場します。高校入学当初は特にやりたいこともなかったのですが、活躍される先輩方を見てだんだんやる気が出てきました。それから部活に取り組む上で欠かせなかったのは切磋琢磨できる仲間と一生懸命サポートしてくださる先生の存在でした。特に自分たちの代になったときは不安でいっぱいでしたが、仲間と支え合い、高い志を持って取り組むことができたので多くの目標を達成することができました。

高校生活2年間を振り返ると、勉強がうまくいかない時や生活のバランスをうまく整えられない時などたくさんの失敗がありました。それでもやりたいことに一生懸命取り組むことの楽しさを感じることができ、高校生活が彩られました。それができるのも、彦根東高校の環境あってだと思っています。部活や勉強、東鬼祭。各分野で全校生徒が日々頑張っています。みなさんのやりたいことはなんですか。やりたいことを彦根東高校で見つけてみませんか。

細江 晟司 さん

（令和6年3月卒業）
野球部
九州大学農学部

僕は、彦根東高校の良さは周囲の環境にあると考えます。彦根東高校の生徒はオン・オフの切り替えが上手にできる人が多くいます。勉強や部活動を頑張る時は必死に頑張る、学園祭である東鬼祭を楽しむ時は全力で楽しむといったように、メリハリをつけて過ごした3年間は僕にとってとても充実したものになりました。

また、彦根東高校の自習室や渡り廊下などでは勉強に集中することの出来る環境が整っています。そこには朝早く来て予習している人や、部活動の合間に勉強している人、テスト勉強や受験勉強に集中している人など、たくさんの人が高い目標を持って勉強に取り組んでいます。僕は塾には通っていませんでしたが、平日だけでなく休みの日も学校を利用し、志高く勉強に励む仲間と切磋琢磨することで、第1志望の大学に合格することが出来ました。

彦根東高校では、素晴らしい仲間と勉強に部活動、そして学園祭などの行事に全力で取り組むことが出来ます。周りの仲間を大切に1度しかない高校生活を思いっきり楽しんでください。

青春をかける部活動

彦根東高では、共に高め合える素晴らしい仲間と、青春をかけて部活動に思いっきり打ち込めます。ただただ夢中になれる。彦根東高には、運動部13部、文化部12部と2つの同好会・サークルの計27部があります。勉強も部活動も、目の前のことに真摯に向き合い続ける充実感を一緒に味わいましょう。努力する人をみんなでたたえ、みんなが努力する学校です。

運動部

野球　陸上競技　バレーボール(男女)
バスケットボール(男女)
バドミントン(男女)
水泳　ハンドボール　卓球　ボート
ソフトテニス(男女)　剣道　サッカー　弓道

文化部

新聞　ＧＳ(物理･化学･生物･地学･数学･社会科学)　ＥＬＣ(英語)
吹奏楽　茶道　文芸　美術　箏曲　囲碁
将棋　料理　演劇　クイズ研究会(同好会)
競技かるたサークル

令和５年度の実績

【全国大会出場】
囲碁　ELC　剣道　GS　新聞　箏曲　ボート

【近畿大会出場】
囲碁　弓道　剣道　GS　将棋　新聞　水泳　ソフトテニス
体操　卓球　ボート　ライフル　陸上競技

第90回記念選抜高等学校野球大会

新聞部 福島県での取材

GS社会科学 高校生による【しが】学びの祭典2023 最優秀賞受賞

富岡 莉央 さん
（令和6年3月卒業）
競技かるたサークル
大阪大学文学部

私が所属していた競技かるたサークルは当初、1学年上の先輩方によって集められた10人にも満たない集団でした。先輩方の引退後、私は正式な部活にするために先生と交渉したり、部員を集めたりしてサークルという形に昇格させることができました。自ら行動して学校に新しいものを作るという経験はとても貴重で、自信にも繋がりました。また、大変な要望にも真摯に向き合い、活動を支えてくださる先生方がいらっしゃることで、生徒たちは自主性を持って部活に打ち込めるのだと気づきました。

また、私は3年生の東鬼祭で団長を務めました。団長の仕事は想像以上に大変でしたが、クラスメイトや友達、たくさんの後輩たちにも支えられ、最後まで全力で役割を果たすことができました。全校生徒が団結して共に成功させた東鬼祭で、団長として大きな貢献ができたことはかけがえのない思い出です。

部活も学校行事も勉強も共に一生懸命頑張り、楽しむことが出来る仲間がたくさんいる彦根東高校の環境はとても恵まれています。目の前の何事にも全力で、楽しんで取り組み、充実した高校生活を過ごしてください。

山口 栞利 さん
（令和5年3月卒業）
陸上競技部
京都大学工学部

彦根東高校では素晴らしい仲間に出会うことができます。部活に情熱を注ぐ人、脇目も振らず勉強を頑張る人の他に、一見ただ友達と遊んでばかりのように見えて、人との繋がりを大事にして、友好の輪を広げている人もいました。それぞれ目指すところ、考え方は違えど、誰もがぶれない芯を持ち、日々努力していました。僕が3年間部活を続けられたのは、そのような仲間の姿を目にし、触発されたからだと思います。また、勉強に疲れた時も、自分がライバルだと思っている人や目標にしている人、尊敬している人は今も頑張っている、と思えば、自然と机に向かう気になれました。

それ以外の周囲の環境や自身の意志は変えられても、3年間を共に過ごす仲間だけは、入学してから変えるのは難しいと思います。ですから、高い志と強い意志を持つ仲間が集う彦根東高校に入学することは、実りある3年間を過ごしたいと考える人にとって、最高のスタートになると思います。ぜひ、周りの仲間を大切に、かけがえのない高校生活を楽しんでください。

サッカー部 人工芝のグラウンドを使った練習

陸上部 平和堂HATOスタジアムでの練習

ELCディベート大会での様子

吹奏楽部 多目的ホールでの合奏

ハンドボール部 試合前の円陣

囲碁部 第46回全国総文祭

箏曲部

ボート部 彦根城を望むお堀から全国へ

弓道部 国スポ会場を使った練習風景

花田 勝彦 さん
陸上部

経歴 彦根東高校 - 早稲田大学 - エスビー食品株式会社 - 上武大学ビジネス情報学部准教授/駅伝部監督 - GMOインターネットグループ監督 - 早稲田大学競走部駅伝監督（現職）

競技歴 アトランタ五輪　陸上競技 10000m日本代表
シドニー五輪　陸上競技 5000m・10000m日本代表
アテネ世界陸上　マラソン日本代表

彦根東高校での３年間は、その後の私の人生に大きな影響を与えました。中学校時代の私は、陸上競技では県大会でも入賞できないレベルの選手だったので、文武両道で取り組める環境がよいと考えて彦根東高校に進学しました。同じような志を持った先輩や同級生に囲まれ、勉強も部活動も創意工夫して取り組んだ日々が今では懐かしいです。特に部活動は、専門的指導のできる顧問の先生がおらず、部員同士でアイデアを出し合って練習に励んでいました。上級生になり長距離ブロック長となってからは、専門書や雑誌を調べたり、強豪校の先生に練習方法を聞きに行ったりもしました。ソクラテスの言葉で『無知の知』というものがありますが、私の高校生活にはその言葉が当てはまりそうです。『わからない』『できない』自分に気づいたことで、『知りたい』『できるようになりたい』という探究心や向上心を持って行動する習慣が身につきました。またその習慣のおかげで、その後の競技生活でのスランプも乗り越えることができました。

若い皆さんには大きな可能性とたくさんの選択肢があります。高い志と自主自律、創造性を重んじる彦根東高校の素晴らしい環境の中で、それぞれが進む道を見つけられることを願っています。

田島 茂代 さん
野球部マネージャー

経歴 彦根東高校 - 東京藝術大学・大学院－ミュンヘン音楽大学
プイフィッツナ―歌曲コンクール第2位　ARDミュンヘン国際コンクールファイナリスト（女声第４位）
J.S.G国際歌曲コンクール第３位受賞
滋賀県文化奨励賞受賞
びわ湖ホール声楽アンサンブルソロ登録メンバー
愛知県立芸術大学　非常勤講師

高校では自分の人生の目標を定め、その目標を実現するという「夢」に向かって、これまでよりもさらに力強く歩み始める時期だと思います。そこでは自分を見つめ可能性を見出す自己への問いかけが必要となります。まさに私も高校２年で自分の進むべき道を決心しました。苦しみながら出した決断ではありましたが、今日までぶれずに自分の道を歩んで来られたのもその当時の先生方の温かい応援があったからこそと感謝しています。

彦根東高校では「文武両道」をモットーに「高い志を持ち（挑戦）、知的好奇心に富み（発見）、決断し勇気をもって行動できる（実践）」という目標を持って日々勉学や部活に切磋琢磨しています。私が所属していた野球部も甲子園に何度も出場し、後輩達の頑張りに胸を打たれました。

東京、ドイツへと私は学びや活動の場を広げて故郷から離れましたが、この彦根東高校で学べたことは誇りです。そして、ここで出会った友人や先輩後輩の皆さんは国内外でそれぞれの道で活躍をされており、彼らからもらえる刺激や友好関係は人生の宝物といえます。これから高校生となられる皆さんが、高校の３年間、大いに悩み、苦しみ、歓喜し、笑いながら充実した日々を送り、その後の人生の礎をしっかりと築くことができるよう心から願っています。

Global Science for Innovation

4期18年のSSH（スーパーサイエンスハイスクール）を礎とし、文理の枠を越え総合的な学力や国際性を兼ね揃えたグローバルリーダーの育成を目的としています。令和4年度から、滋賀県教育委員会は文部科学省から「WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業」の管理機関に指定され、本校は本事業の「カリキュラム開発拠点校」として研究開発を進めています。また、海外の連携校と“Trans Asia-Pacific Network（TAP）”を組織し、相互訪問・共同課題研究なども行っています。

2023彦根東サイエンス国際フォーラム

STEAM教育の充実とイノベーション力の育成

イノベーション力の育成などを目的とし、東京大学生産技術研究所内にある「（一般社団法人）学びのイノベーション・プラットフォーム（PLIJ）」と連携をし、STEAM教育を推進しています。
※科学・技術・工学・アート・数学の５つの領域を融合した教育を「STEAM教育」と呼びます。

シンガポール連携校研修

国際性の育成

オーストラリア、インド、インドネシア、中国、アメリカの連携校（６校）と連携し、定常的な交流を通して国際性と実践的な英語力を育成しています。

●シンガポール連携校研修
Global Indian International Schoolシンガポール校やシンガポール国立大学での現地の学生との交流をはじめとし、三菱商社シンガポール支店など世界で活躍するグローバル企業への訪問も行いました。

●サイエンス国際フォーラム
TAPの連携校が参加し、課題研究の発表を始めとした交流を行います。令和４年度は実際にインドとインドネシアの学校を招き、オンラインを併用したハイブリッド開催をしました。対面参加の生徒達とは、書道や融合授業等の授業を一緒に行い、部活動体験や、彦根城散策等の活動を通して親交を深めました。次回はインドでの開催になる予定です。

ZOOM画面

連携校生徒との交流 日本文化体験

シンガポール連携校研修

教科融合授業

様々なテーマに関して、複数の教科を融合した授業を行い、俯瞰的・多角的に物事を捉え、社会的課題などを解決する力を培います。
※これまでに、「感染症」「プラスチック問題」「時間の流れ」「フェイクニュース」をテーマにした教材を開発し、授業を行っています。

ICTを活用した発表準備

意見集約の様子

グローバル・サイエンス（GS）コース

社会的な課題を解決する力の素地と共に、国際社会のリーダーとしてふさわしい能力や態度を、探究活動や様々な研修を通じて育成します。
国際性や語学力をベースに、自然科学・人文科学・社会科学の各領域を総合的に学ぶとともに、専門分野の領域を深く掘り下げます。

●課題研究
１年生はSDGsなどに関わるテーマ、２年生は自然科学や社会科学などを対象に、実験・観察及びフィールドワークを通してグループで研究活動を行います。研究成果は多くの発表会や学会で発表し、高く評価されています。

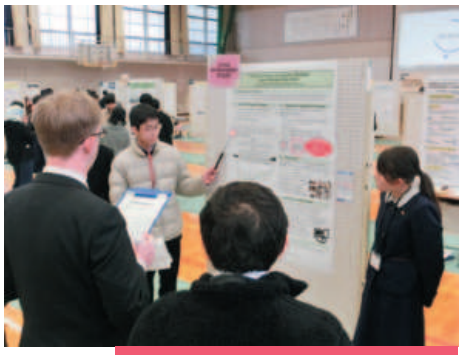
●Major Minor制（メジャー・マイナー・リサーチ）
専門性を深めたい２分野を定め、深い学びに繋がる探究活動を実施します。
（例）物理工学と日本文学、無機化学と民俗学

●各種講義・講演
大学などから研究者を招いての「先端科学研修」、JICAなど世界で活躍している本校OBなどによる「グローバル・セミナー」、新たな技術や商品開発を行っている大学や企業の技術者による「イノベーション力講座」などを実施しています。

●各種研修
琵琶湖博物館実習、京都大学エネルギー理工学研究所・防災研究所、大阪大学産業技術研究所を始め、１泊２日で大阪・神戸の研究機関や大学を訪問する「関西研修」により、先端技術・研究に関する知識と理解を体験的に深めます。

その他、外国人講師による授業・ＨＲ、プレゼンテーション講座など、GSコースだけの特別プログラムも数多く予定されています。

京大研修


彦根東サイエンスフェスティバル

バイオイメージング学会参加（大阪大学）

東大研修

馬渕 梧生 さん
（令和4年3月卒業）
東京大学理科一類

僕はバスケ部と囲碁部の兼部を考えていたため、最初ＳＳコース（現ＧＳコース）を選択するか迷っていました。東高の先生に相談し大丈夫だと聞き、兼部をしつつＳＳに入るという決断をしました。結果、どれも最後までやり抜くことができ、とても楽しく過ごせたのでＳＳに入って本当に良かったです。
特に２年生からの課題研究では、一般的に大学生や社会人から経験するかもしれない研究活動を一足早くできたことが大きかったです。実験の計画・実験道具の準備・実験・結果の記録・考察・発表という研究に関わる一連の手順、また、実験ノートへの記録・パワーポイント制作といった研究に必要な基礎的なスキルを学びました。自分達の原稿を自分達で英訳し発表する機会もありました。難しそうだと考える方もいるかもしれませんが、先生方から指導を受けつつグループで行っていくので心配はありません。
また、ＳＳでは先輩方や外部の方の研究を知る機会や企業研修の機会が多く、興味深い話を聞くことができました。東高の研修は国内だけでなく国外へのものもあり参加は自由ですが、参加者の意欲は高かったです。僕たちの学年はコロナの関係で海外研修は実施されませんでしたが、皆さんにはぜひその機会を活用してほしいです。
ＧＳコースでもクラスメイトと様々な経験をして、きっと充実した高校生活を過ごすことができるでしょう。

廣橋 遥奈 さん
（令和6年3月卒業）
名古屋大学工学部

彦根東高校は、高校生では滅多に体験できない自分たちで問題に取り組む課題研究をすることができます。一年生の時から、外部講師の方や大学教授の方を招き講義を行って頂きました。また、研修で大学を訪問することで興味のある分野を見つけ、知識を深めることができます。私はＳＳコース（現ＧＳコース）に属していたので、科学的な研究に約一年間私自身の好きな数学の分野で取り組みました。グループ活動だったので討論をすることにより研究への自分の理解をより深めることができ、成長できたと思います。そして、SSH生徒研究発表会に参加した際には、全国から生徒や教員、大学関係者の方が集まっており、自分たちの研究に対して意見や質問を頂きました。学校外の方と関わることができるのは貴重なことであり、また数学だけでなく他の科学的な分野の方の前で発表したことは良い経験であり、人前で発表するのは苦手だったのですが人前に立つ自分に自信が持てるようになりました。それに加えて私は大学で学びたい分野を具体的にイメージすることもできました。
皆さんも彦根東高校で自分自身のやってみたいことやその延長として将来学びたいこと、携わりたいことを見つけてみてはいかがですか。

令和6年度 学校説明会のご案内

1st
8/8(木) AM・PM
8/9(金) AM

2nd
11/9(土) AM

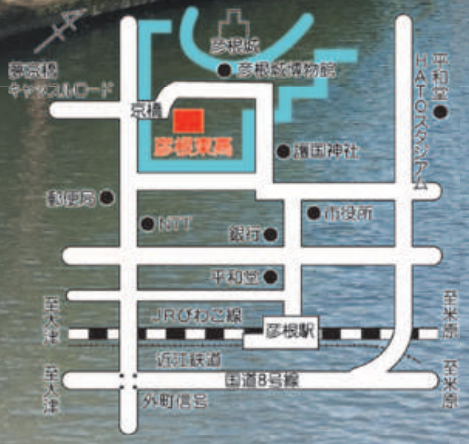
内容
- 学校概要説明
- 授業体験
- 部活動、施設見学　など

彦根駅までのアクセス

JR主要駅からの所要時間	
大津	38分
草津	27分
守山	23分
近江八幡	14分
能登川	8分
米原	5分
長浜	25分
高月	33分
貴生川	56分
近江今津	53分

近江鉄道主要駅からの所要時間	
水口	80分
京セラ前	47分
八日市	34分
高宮	8分
米原	11分

彦根駅からのアクセス



滋賀県立彦根東高等学校

〒522-0061 滋賀県彦根市金亀町４番７号
TEL 0749-22-4800　FAX 0749-26-3879
最新情報はホームページで！
http://www.hikonehg-h.shiga-ec.ed.jp/